



熊谷市内で回収された野鳥で 高病原性鳥インフルエンザの疑い事例確認！！

【経緯】

- 11月29日（金）、熊谷市内で回収されたハヤブサの死亡個体について簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルス陽性反応を確認。
- 発見場所を中心とした半径10km県内を野鳥監視重点区域に指定し、区域内の野鳥の監視を強化する。
- 今後、国の検査機関において遺伝子検査を実施し、高病原性鳥インフルエンザか否かを確認する。

最大限の警戒を！

県内にウイルスが侵入しています！！
ウイルスの侵入防止を徹底してください！！

★農場への侵入を防ぐため、農場周囲、鶏舎周囲の消毒を確実に実施してください。

★家きんの状態を十分に確認して、少しでも疑わしい症状を確認したら、直ちにご連絡ください。

◎異状を発見したら、直ぐに家畜保健衛生所に通報!!

⇒ 048-521-1274